

(様式 5-1)

地域重点施策推進事業事後評価調書(令和3年度実施分)

地域振興局名

鹿角地域振興局

(振興局調整費)

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録決定のPR	総務企画部	伝農満	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	0186-22-0457	R3.7.16～31に開催されるユネスコ世界遺産委員会で、「大湯環状列石」が「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界文化遺産として登録される予定である。PRのため、懸垂幕(庁舎壁面に掲示)、ロールアップバナー(管内道の駅3か所、庁舎)、登り旗(管内道の駅3か所、庁舎×10個)を作成展示する	333,630	・ロールアップバナー4個制作 ・登り旗40枚制作 ・懸垂幕制作	県	一般県民、観光客等	令和3年6月16日	庁舎壁面に懸垂幕掲示し、道の駅3か所、庁舎内に、ロールアップバナー、登り旗を掲示して、世界遺産登録をPRすることができた。道の駅職員等から、来客の反応が良いとのことだった。	・世界文化遺産登録決定翌日から掲示することができ、タイムリーに周知することができた。
											令和4年5月14日		
雪下ろし注意喚起事業(コミュニティFM活用事業)	総務企画部	伝農満	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	0186-22-0457	冬期間に、発生する事故(雪下ろし)について、注意喚起をするとともに、防止対策について周知する。特に事故が発生し始めるR4.1.8～2.7の31日間に集中的に放送し、事故防止の周知を図る。フリースポットCMとして、朝晩1回づつ放送する。(20秒CM)	130,460	R4.1.3～2.2 朝晩×31日 レギュラースポットCM(20秒) 地域コミュニティFM(きりたんぼFM)で放送した	県	一般県民	令和3年12月1日	通勤・帰宅時間帯に放送することで、通勤時間帯の管内の県民に広く周知することができた。ラジオを聞いて除雪者を見かける、と声かけするようになった庁舎職員、市町職員が増えた。	コミュニティFMを活用したことで、管内に広く周知することができた。今後、周知する媒体の一つとして活用できることも判明したため、翌年度事業で周知が必要な事業において活用することとした。
											令和4年5月14日		
地域未来創造センター機能強化(コミュニティ生活圏形成事業)	総務企画部	伝農満	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	0186-22-0457	人口減少や少子高齢化が急速に進行している中で、集落における日常生活に必要なサービス機能を維持・確保していくため、複数の集落による新たな生活圏である「コミュニティ生活圏」の形成を図る。	10,027	・R3.11.6 ワークショップに参加 ・R3.11.5 ワークショップに参加 ・R4.1.5 小坂町報告会に参加	県	一般県民	令和3年4月1日	・住民から積極的にアイデアが出され、R4.1.15に開催された小坂町報告会で取組報告をし生活圏形成の必要性を共有できた。	・職員が発言することは極力避け、住民からの発言を促すように進めるよう努め、住民の意見を多く引き出すことができた。
											令和4年5月14日		